

## 19. サロン合同食事も

グループ名       ヘルスボランティア ほたる  
代表者             中 村 育 江

### ① 活動の目的

- ・ 高齢者の一人住まいが多く、郊外で交通の便も悪い地域のため、閉じこもりや認知症の予防、健康状態の維持を目的に、近くの集会所または老人福祉施設、地域の公会館を利用して「サロン」を開催している。
- ・ 地域の皆様のご理解・ご協力のもと、施設使用は無料で借用し、活動費については、地域社会福祉協議会より支給を受け、会費は無料とし、参加者の費用負担にならないようにしている。
- ・ 老人福祉施設は他地域からの来場も多いため、特に参加地域を区切らず、自由に参加できるようにしている。また、回数についても制限を設けず、どこのサロンにも自由に参加できるようにしている。

### ② 活動概要

- ・ 平成 22 年 12 月に、第 1 回「ほのぼのサロン合同食事も」が実施され、毎年 12 月の第 3 火曜日に開催している。
- ・ 毎月 1 回、4ヶ所にて「ほのぼのサロン」を行っており、会場となる集会所または老人保健施設には参加者ご自身でいらして頂くことになっている。郊外のため、交通の便が悪く、また、会場が坂道のところもあり、毎月のサロンに参加できないかたも多数いる。
- ・ 開催地 4ヶ所で、毎月 1 回、簡単なゲーム、ハンドベル、キーボード伴奏での唱歌・懐メロ、七夕やひな様作り、新聞紙で作成したドレスを披露し合うファッションショー、ボランティアが補佐をしながら簡単なおやつ作り、12 月に 4 会場合同での食事もを開催している。
- ・ 浜松市の保健所からは、地区担当の保健師に、1ヶ所に 2 回ずつ、合計 8 回、健康チェック及び健康講話にご協力頂いている。
- ・ 保険については、開催地区に在住の参加者は自治会の保険を適用して頂き、老人福祉施設での開催時のみ「行事保険」に加入している。
- ・ 12 月の「合同食事も」は、ボランティアが、手分けをして参加者全員を送迎するため、常時参加できないかたでも、12 月だけは参加することが可能となる。
- ・ 合同開催となるので、久しぶりに再会するかたも多く、普段より話が弾むことが多い。参加者も毎年楽しみにして下さっているせいか、こちらも年々、参加者が増加傾向にある。

- ・ サロン参加者のご家族から、「サロンに参加してから元気になった」と伺ったり、ボランティアスタッフから見ても、笑顔が増えて話しかけてくることが多くなった。りするかたも何人かいらっしゃる。また、それがボランティアスタッフの励みとも成っている。
- ・ 高齢のためや、亡くなられてしまったため不参加者も出てきているが、新しく参加されるかたも多くなり、年々参加者は増加傾向にある。

### ③ 決算報告書

| 収入                    |        | 支出           |        |
|-----------------------|--------|--------------|--------|
| 大同生命厚生事業団<br>助成金      | 20,000 | お弁当@¥500×79ヶ | 39,500 |
| 老人福祉施設 湖東荘<br>バザー販売謝礼 | 5,231  | お菓子          | 5,908  |
| 地域社会福祉協議会<br>活動費      | 24,949 | 漬け物          | 1,642  |
|                       |        | 茶葉代          | 3,150  |
| 合計                    | 50,200 | 合計           | 50,200 |

### ④ 写真によるサロンの様子

合同食事会の後は、テーブルの上を片付け、折り紙で今年の干支である「午(馬)」を作成。できるだけボランティアの手を借りずに、ご自身で仕上げて頂くようにしている。



男性の参加者は、折り方を見ていて、できあがったものを持ち帰られることが多い。



皆さん「干支の牛の折り紙」をお土産に、笑顔で来年の開催を楽しみにして、元気に帰って行かれた。